

社会は今、AIやデジタル技術の進化によって、めまぐるしい変化をしています。便利になる一方で、人と人との関わりが希薄になりやすい時代でもあります。だからこそ、松山北高校の校訓「文・武・心」に込められた精神が、今あらためて大切に思われます。

「文」は、学問に真摯に取り組み、学びを通して考える力を育むこと。

「武」は、スポーツに爽やかな汗を流し、強くしなやかに挑戦する力を磨くこと。



PTA会長 渡部 大悟

校訓から学ぶ「今を生きる力」



發行
愛媛県立松山北
高等學校 P T A
松山市文京町 4-1
TEL 925-2161

学校は、知識を学ぶ場であると同時に、仲間と支え合い、共に成長する場所です。友人と力を合わせて行事をつくり上げる中で、思いやりや責任感が自然と芽生えます。その経験が、生徒たちにとって何よりの学びであり、未来を生き抜く力の源になります。

昨年度に引き続き、PTA会長を務めさせていただいております渡部大悟と申します。北高生の皆さん、そして保護者の皆様、日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

「心」は、心豊かな人間性を求める、人を思いやり、共に生きる力を育てること。

松山北高校PTA会員の皆様方におかれましては、日頃から本校の教育活動に御理解・御支援を賜り、心から感謝申上げます。今年度は、体育館モ
さになつてゐると感じます。社会が便利になり、人との関わりが減りがちな今だからこそ「顔の見えるつながり」を大切にしたいと思います。

五月のPTA総会は書面決裁となりましたが、PTA研修旅

ルタル片落下事案が八月に発生し、幸い怪我人はいなかつたものの、長きに渡つて体育馆館が使用できないという状況が続いています。生徒たちが体育馆で活動できないことに連動して特にPTAの皆様には大変ご不便とご迷惑をかけることになつてしましました。大変申し訳ありません。

PTA活動の本質は、学校種によつて違いはあるかもしけませんが、児童・生徒を支援・応援することだと思います。今回 の事案でも痛感しましたが、生徒の努力は大前提として、学校の教育活動は保護者の理解なしでは成り立ちませんし、教職員の力がなくとも成り立ちませ ん。

これからも松山北高校が、「文・武・心」のもとで、生徒一人ひとりが『今を生きる力』を育んでいく学校であるように、PTAとして、保護者とともに歩みを進め、いきたいと思います。今後とも、よろしくお願ひいたします。

私は、自分の努力と人の助けによつて、事態はいつか好転していくんでいくのだと思つていま
す。どんな状況でも、自分ひとりで乗り越えていくのはとても困難です。というか無理です。
今回の件では、事務室に助けをもらひながら、県に学校としての要望を届けました。自分の

TAを引き続き目指し、関係者全員が助け合えることを願います。皆様とともに、北高生を支援・応援できることを祈っています。



校長上井浩

危機をどう乗り越えるか

高校時代のピンチは、やはり受験の失敗(全敗)でした。行くところのない私を救ってくれたのは、担任であり、友人であり、家族でした。いくら頑張つても、自分ひとりでは乗り越えられなかつたと思います。おかげで

部活動の大会結果

11月まで 上位のみ